

中学校給食についての補足説明

第2回懇話会で出された質問に関する補足説明である。

【質問】

自由選択方式の開始に先立って、盛岡市中学校給食検討会で実施したアンケートの結果において、今回の結果と同様に保護者からは全員喫食を望む声が多かったにもかかわらず、なぜ自由選択方式となったのか

盛岡市中学校給食検討報告書（平成14年3月28日）より抜粋

5 検討結果

(1) 中学校給食の基本的方向

ア 目標

中学校給食の実施に当たり、学校給食法にある意義を踏まえつつ、これまでの議論から、中学校給食の目標を次のとおり設定する。

① 自己管理による望ましい食生活を実践できる能力の育成

食生活に起因する健康問題への対応と生涯を通じて望ましい食生活にしていくためには、正しい食事のあり方を知識として教えるだけではなく、生徒自らの力で実践できるように育成していかなければならない。

このため、『自己管理による望ましい食生活を実践できる能力の育成』を目標としたものである。

(中略)

イ 実施方式

具体的な実施方式は、次のとおりとする。

① 給食自由選択方式

弁当持参を希望する生徒、あるいは食物アレルギー等による食事制限のある生徒への配慮を重要視しながら、生徒自らが食生活や健康の状況を判断し選択するといった自己管理能力の育成にも着目し、学校給食と家庭からの弁当持参とを生徒自らが選択できる「給食自由選択方式」とすることが望ましい。

(後略)

市立中学校給食実施基本計画（平成16年3月29日） より抜粋

2 実施に当たっての基本的考え方

盛岡市中学校給食検討委員会や市立中学校給食実施計画策定委員会の検討協議において、実施にあたり留意すべき事項に関する協議の結果を取りまとめた基本的な考え方は次のとおりである。（各項目の詳細は省略）

- (1) 望ましい食習慣の育成の必要性について
- (2) 「食」に関する自己管理能力の育成の必要性について
- (3) 明るく楽しい食事の環境づくりについて
- (4) 地場産品の活用について
- (5) 給食時間の確保について
- (6) 弁当希望者への配慮について
- (7) 事務処理の合理化について
- (8) 少子化傾向について
- (9) 財政的課題について

3 実施方式について

実施方式については、調理場形態及び経営形態に関して検討を行ってきたところであり、実施に関する基本的考え方の方向性が得られたところである。

これを基に検討を行った結果、実施にあたっては家庭からの弁当の持参を併用する給食自由選択方式の導入とランチルームの整備を図るものとする。（後略）